

なよろ



名寄市観光キャラクター
「なよろ」



<http://www.city.nayoro.lg.jp/assembly/>

令和5年
第4回定例会
第71号
令和6年2月1日
発行

- 新年の抱負～全議員 …………… 2～3
- 町内会との意見交換会 …………… 4～5
- 一般質問～ 10名が発言 …………… 7～11
- きぼう（清水和彦さん、西川千広さん）……………16

2/29～ 第1回定例会予定

題字 名寄智恵文小学校 藤森結愛さん

抱負 員が語る!!



5 谷 聡

議員としても名寄市民
としてもまだまだ新参
者ですので、可能な限
り多くの方と接したい、
と考えています。



1 中畠 孝幸

名寄市立大学の若い学
生からまちの活気が生
まれます。全国から学
生が集まり人材が育つ、
そんな大学の発展を。



6 今村 芳彦

「風連・若者・農家の^{いやさか}弥栄
(みらい)を猛プッシュ」
怪我しない。病気にな
らない。飲み過ぎない。
腹顧みて減量します。



2 富岡 達彦

「時はいのちなり」
いのちの時間は失って
しまうと、取り戻すこ
とはできません。
いまのいまを大切に。



7 清水 一夫

経済建設常任委員会委
員として所管事務調査
の農業について、さら
に知見を深め基幹産業
の発展に尽力します。



3 山崎 真由美

十二支の辰年を思い、
上向きに活動的に行動
していきたいと思いま
す。「一生懸命」の4文
字を心に邁進します。



8 川村 幸栄

若者がいきいき働き、学
べるまち。女性や高齢
者が安心して暮らせる
まち。どの子も輝くま
ちを目指し頑張ります。



4 水間 健詞

皆様にとっての新年を
^{ことば}寿ぐとともに、翌朝を
期待とともに迎える
日々のために精一杯努
力したいと思います。

2024年

新年の 16名の議



13 えんどう たかお
遠藤 隆男

立候補時に掲げた目標をさらに具現化していくために、初心に立ち返り、取り組んでまいります。



9 さとう やすし
佐藤 靖

名寄市の課題と真正面に向き合い、「有言実行」「剛毅果断^{ごうきかだん}」を心に刻み、この1年も頑張ります。



14 ひがしかわ たかよし
東川 孝義

3期目立起の時に決意した目標に向けて継続を力に、市民と共に夢のあるまちづくりに取り組んでいきます。



10 くらさわ ひろし
倉澤 宏

市民との対話を重視し、より多くの声を市政に届けながら、市民と協働のまちづくりを目指してまいります。



15 あずま ちはる
東 千春

今任期は議員会会長を仰せつかりました。議員相互の親睦とともに円滑な議会運営に努めます。



11 たかの みえこ
高野 美枝子

「安心して暮らせるまちづくり」「安心が実感できるまちづくり」「名寄市の課題」に全力で取り組みます。



16 やまだ のりゆき
山田 典幸

議会議論の活性化と積極的な広聴活動を推進し、市民により身近で魅力ある議会を目指して全力で取り組みます。



12 たかはし しんすけ
高橋 伸典

夢あるまちづくりへ全力投球！健康と福祉のまち
☆子どもの未来輝くまち
☆いきいき暮らせるまち
☆名寄を目指します。

意見交換会

貴重なご意見を
いただきました

【D班】

◆高見区町内会 8月27日(日)

◆風連新大町町内会 11月17日(金)

班長①倉澤 宏

②遠藤 隆男

③山崎真由美

④今村 芳彦

⑤中畠 孝幸



◆西町3区町内会

Q 空き家対策について(付近で子どもたちが遊んでいる。小動物の増などで衛生的にも問題)。

A 所管の常任委員会も課題として捉えている。
市民部からの回答

指摘のあった空き家は市も承知している。関係者への連絡を行っている。

空き家を含め勝手に侵入することは違法行為になる可能性もある。保護者等への啓発を図る。

◆徳田区町内会

Q 豊栄川の草木の管理が必要。熊の出没もあり、きちんとした管理を。

A 議会側も認識しているので、しっかりと対応したい。
建設水道部都市整備課からの回答

管理者である旭川建設管理部美深出張所に確認。草刈は年1回実施、パトロールは月1回目視点をし、結果を基に伐木、浚渫の箇所を選定している。市からも継続して要望する。

◆市民部からの回答

Q 16線1号通り側溝のゴミの放置について、紙おむつなど衛生用品も放置されている。町内会で月に1〜2回ゴミ拾いを行っている。何とかしてほしい。

不法投棄監視中ののぼりを設置し、注意喚起を行っている。依然としてゴミが不法投棄されていることから、今後は監視カメラの設置を視野に入れた対策を検討している。

◆麻生区町内会

Q 国道40号線の草刈りが遅い。

A 市から開発に要望してもらった。市民からも旭川開発建設部に安全上草刈りの要望をしてほしい。
建設水道部都市整備課からの回答

地域からの声ももらっている。管理者である旭川開発建設部士別道路事務所に要望している。国道全区間における年1回の草刈りは適切な時期を見極めて行っていると回答を



町内会との

班編成

【A班】

◆西町3区町内会 10月21日(土)

班長①山田 典幸
②高野美枝子
③東川 孝義
④清水 一夫
⑤富岡 達彦

【B班】

◆徳田区町内会 10月23日(月)

班長①倉澤 宏
②遠藤 隆男
③東 千春
④川村 幸栄
⑤谷 聡

【C班】

◆麻生区町内会 10月7日(土)

◆中名寄町内会 11月5日(日)

班長①山田 典幸
②高野美枝子
③佐藤 靖
④高橋 伸典
⑤水間 健詞

受けている。

◆高見区町内会

Q 福祉会館は避難所にも指定されているので、玄関入口部分の除雪を希望。草刈や除排雪は福祉分野の考え方としてやるべきでは。

総合政策部からの回答

町内会館の「維持管理」として、町内会館建設費等補助金で会館修繕にかかる費用を補助。日常的な管理についても日頃使用している町内会で管理を願いたい。避難所に指定されているが、他の町内会館と同様の対応を願いたい。

◆中名寄町内会

Q ピヤシリスキー場の小中学生のリフト券無料のため大変多く来場している。他市から来た友人が無料と聞いて大変感動していた。もっと無料についてPRしてほしい。交流人口の活性化につながるのでは。

経済部からの回答

小中学生リフト券の無料について、市内や近隣以外の市町村からも好評をいただきありがたい。今シーズンからスマートゲートを導入したことも含め、より広く伝わるよう名寄振興公社と連携して発信していく。

◆新大町町内会

Q ヒグマなど有害鳥獣対策として、ドローンの活用が有効であると考えているかがか。

A ドローンの活用は現場の声として意義が大きく、提案したい。経済部からの回答

ドローンは上空からの撮影によりヒグマの位置把握の効果が期待できるが、樹木が生い茂る夏場の山林などは発見が難しいなど利活用に制限があることや高価など、運用には課題がある。北海道では実証事業など進められている。今後も国や道、先進自治体などの情報収集に努めながら、必要な対策を実施していく。



令和5年 第4回定例会 11月29日～12月15日

補正
予算

全小中学校に空調設備を
エアコン設置に向け準備

実施設計委託料

3100万円

市内小中学校等に空調設備を整備するため、実施設計を行うものです。

市内小学校、義務教育学校、風連中学校への設置について、まずは事業費や電気容量を確認するため、今年度より設置に向けた設計業務を行い、設計業務終了後、設置工事を行う予定です。

名寄中学校、名寄東中学校は、改築・改修を控えているため、窓用エアコンの設置を予定しています。

住民税非課税世帯へ給付金

今年度中に給付

2億8470万円

住民税非課税世帯1世帯あたり7万円の給付金が支給されます。

条例の
制定・改正

☆名寄市共同飲料水施設等事業条例の
一部改正について

各地域にある共同飲料水施設利用組合に対し、受益戸数の減少や、施設改修等の費用上昇への対応として、補助金の限度額を引き上げるものです。

☆名寄市議会議員の請負の状況の公表に
関する条例の制定について

地方自治法の一部改正に伴い、議員個人が地方公共団体にに対し、300万円以下であれば請負をすることが可能となったため、条例を制定しました。

人事案件

・人権擁護委員

早坂 由起子氏(新任)

令和5年 第4回定例会 議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	義務教育学校の設置に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	名寄市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市共同飲料水施設等事業条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	名寄市博物館条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	名寄市下水道条例の一部改正について	原案可決
議案第7号	名寄市個別排水処理施設条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	指定管理者の指定について(名寄東病院)	原案可決
議案第9号	財産取得に関する賃貸借契約の変更について	原案可決
議案第10号	和解について	原案可決
議案第11号	令和5年度名寄市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第12号	令和5年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第13号	令和5年度名寄市立大学特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第14号	令和5年度名寄市病院事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第15号	令和5年度名寄市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第16号	名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第17号	名寄市パートタイム会計年度任用職員の報酬、手当及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第18号	名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第19号	名寄市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第20号	名寄市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第21号	名寄市フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第22号	名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第23号	地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第24号	工事請負契約の変更について	原案可決
議案第25号	令和5年度名寄市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
議案第26号	名寄市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について	原案可決

第4回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

◎高温障害による農作物被害など厳しい情勢に見舞われる農業者の救済措置を求める意見書

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



条例を活かしたまちづくり

市民ネット 山崎 真由美 議員

名寄市みんなを結ぶ手話条例

問 条例第5条に明文化されている手話の普及啓発や環境づくりなど、施策推進についての取り組みは。

答 継続的に手話奉仕員養成講座を開催。また、企業、官公庁、団体への出前講座も行ってきた。今後も手話が身近に感じられるよう、広報・普及活動に努めていく。

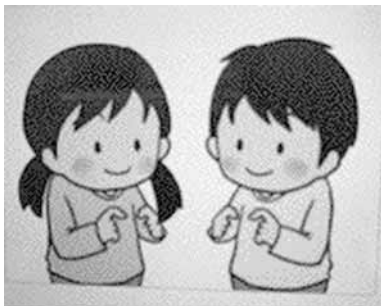
問 教育現場における手話普及活動の取り組みは。

答 手話に限らず、インクルーシブ教育の中で、障がいのある無しに関わらず、共生し育っていきける環境を整えていく。

健全化を担保する予算編成を

問 2024年度予算編成において最重要視する喫緊の課題とは。

答 学校施設の空調設備整備



手話はみんなを結ぶ大切な言語

やDX施策などが挙げられる。

問 今後、基金を取り崩しての財政運営が想定されるが、財政の健全化を担保する上で鍵となる考え方は。

答 財政規律3点を設け、しっかりと遵守しながら持続可能で健全な財政運営を維持していく。また、基金（貯金）と市債（借金）のバランスを考慮した活用にも努める。

他の質問（仮称）「名寄市子どもの権利条例」制定について

将来に夢の持てる事業展開を

問 令和6年度予算編成に向けての基本的な考え方や並びに市民生活向上に向けての具体的な施策展開は。

答 少子高齢化、人口減少に起因する人材不足など、従前の施策の考え方・進め方では解決できない課題が山積している。デジタル技術の活用やコンパクトなまちづくりなど、これまで展開・議論してきた事業を継続・発展していかなければ地域での生活を守っていくことはできない。将来に夢の持てる事業の展開では、公共施設等再配置計画のフェーズで財政影響を考えながらスピード感を持って議論を深める。

水道事業の現状と課題は

問 市民生活にとって重要なインフラ整備となる水道事業



官民連携のまちづくりを

市政クラブ 東川 孝義 議員

で、老朽管の更新を含めた今後の経営課題は。

答 老朽管の更新は令和6年度から15年度までに、毎年2億円前後の事業規模を計画している。郊外地区へ配水管を拡張する第2期拡張事業については、総事業費が20億円を超える整備となることから経営の安定化を図るため、経営審議会での協議の結果、令和6年度以降の事業を凍結することとなった。



計画的に進められている水道老朽管取り換え工事

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



住みつづけたいまちづくり

市政クラブ 遠藤 隆男 議員

安全安心なまちづくり

問 旧豊西小学校の管理要綱等について伺う。

答 比較的大きな面積を要する未活用施設であり、現在は観光協会などの備品倉庫として施設の一部を活用。旧耐震基準の建物のため、用途を終えた普通財産として管理している。個人・団体への貸付や売却などで活用の見込みが無い場合、取り壊すことを基本としているが、多額の費用を要するため解体には至っていない。

管理については最低限とし、敷地内の草刈り、樹木の剪定、破損した窓の対応など、費用はほとんどかけていない。

問 再活用か解体かの方向性を示すべきでは。

答 財源を確保して解体する方向性を示さなければならぬ



閉校後7年が経過した旧豊西小学校

いが、財政的に厳しく、いつとは明言できない。

グラウンドについては、なよろ観光まちづくり協会からの提案で、今シーズンの雪質日本一フェスティバル会場として活用する。

他の質問 通学路の安全確保対策、農業振興センターの役割等・担い手の確保と育成、地域おこし協力隊について



道北農業の未来を拓く

市政クラブ 今村 芳彦 議員

第2次農業・農村振興計画

問 どのような計画か。

答 農業・農村の役割を踏まえ、状況の変化や課題に対応し、持続的な発展に向けてJ A道北なよると連携し策定している。

問 新規就農者増に向けた活動は。

答 既存の営農形態を生かした第三者経営継承への取り組みを重視したい。

問 農作業受託事業を振興する事業展開は。

答 苦戦している課題であり、地域の意見を斟酌し検討したい。

問 農村地区の女性・青年対策は。

答 地域の中核を担うよう、資格取得や経営参画に向けた支援など考えたい。

問 米麦乾燥調整施設の更

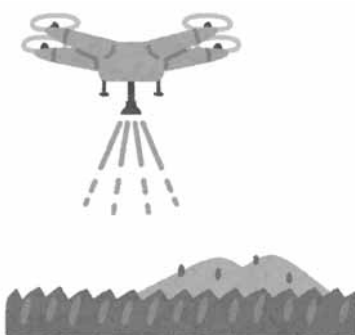
新に向けた協議は。

答 基本的にはJ A道北なよるが計画的に運営しているが、必要に応じ考えたい。

産業高校跡地活用に向けて

問 現在の検討状況は。

答 北海道教育委員会も理解を頂いていると考えており、光陵キャンパスを東中学校の校舎として活用するか検討している。



農業農村の持続的な成長を計画的に

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



市民満足度の高い除排雪を

市政クラブ

谷

聡 議員

除排雪体制と助成制度

問 助成制度の積極的な活用を呼びかけては。

答 排雪ダンプ助成は道路だけでなく個人宅の排雪にも利用可能。今年度から町内会からの申し込みの場合、1台3千円助成のメニューを加え、制度の充実を図っている。

問 除排雪管理システムの導入目的は。

答 担い手不足を解消し、かつ市民満足度の高い除雪のためGPS等を活用して作業の効率化を図っている。

旧学校施設の適切な維持管理を

問 多額の費用がかかる旧豊西小学校の取り壊しを早期に行い、将来世代への負担先送りを避けるべき。

答 様々な事業がある中で、優先順位を決めて、検討して



市道の除雪風景

いく。

他の質問

風連地区の国道・道道の排雪について、除排雪にかかる市民周知について、旧下多寄小学校の体育館屋根の塗装等維持管理について

人材確保に奨学金代理返還を

問 地方において地域社会の担い手が減少している。卒業後、地元に戻ってきて奨学金の返済が苦しい、負担が重いという声がある。特別交付税を活用し、地元就職や居住した場合に利用できる、奨学金代理返還制度の推進を。

答 市独自の制度創設に向け、令和6年度予算に計上すべく道内の実施市町村の事例を参考に制度設計を行っている。他の自治体と遜色のないような制度にしたい。学生に名寄のまちや企業を選んでもらえるような制度設計を進めている。

物価高騰対策について

問 日本経済は長く苦しいコロナ過を乗り越え、本格的な経済再生に向けて進み始めている。国際情勢の緊迫化や円

地方創生に向けて

公明

高橋

伸

典 議員



安などの背景にエネルギーや食料品等の価格が上昇している。重点支援地方交付金を活用し、市民や業者に対する支援の考え方は。

答 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金は制度要綱や事務手続き等の内容を精査し、事業の制度設計や予算化に向けた議論・作業を行っている。

低所得者世帯支援枠7万円は定例会最終日に補正予算を提出する。



若者の地方定着を促す奨学金代理返還支援制度の普及を

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します
二次元コードより発言の様子を見ることができます



ヒグマ対策について

市政クラブ 水間 健詞 議員

ヒグマの被害状況は

問 本市のヒグマによる農作物及び人的被害状況、捕獲・駆除の実績は。

答 被害額ベースでは令和2年度から令和4年度までの3か年平均との比較で21万円の減。減少傾向だが本年度もスイトコーンなどの食害が聞かれた。

問 ヒグマの出没・目撃情報は。市街地近郊に生息するいわゆる「アーバンベア」の市内事例は。

答 令和2年度から令和4年度の同時期平均との比較で8件の増。ヒグマの生息域が拡大し、人への警戒心が薄いヒグマの生態変化が懸念。市内でも人里近くで出没がある。

ヒグマ対策と課題について

問 対策と課題は。ドローン等新しい対策機器の効果は。



適切な対策で被害の最小化に

行動範囲が広く、人目を避けて行動するなど、個体の把握や特定が困難で駆除が難しい。ドローン等の効果は確認できなかったなど報告されたが、今後の性能向上・コスト低減等に期待。情報収集に努め、新たな対策機器等の活用を図りたい。

作品の保存をめぐる

問 寄贈された作品の数と保存状態は。

答 寄贈品数は、作品700点、銅板・亜鉛板145点、制作道具や愛用品576点の計1421点となっている。温湿度管理がされ、自動消火を行うハロン消火設備を設置した北国博物館の第一収蔵庫で保管している。第一収蔵庫は常に施錠した状態にある。

作品の展示をめぐる

問 市民文化センターエッセイホール内の「木原記念ギャラリー」は常設展示施設として広さや管理の面から不十分と思えるが見解を伺う。

答 文化芸術の拠点機能を果たす施設内の一角に「木原記念ギャラリー」を設けることで、ご遺族の理解をいただいている。今後、展示作品の



木原康行作品の保存と展示

共生なよろ 中嶋 孝幸 議員

れ替えや周知方法の工夫・拡大、北国博物館の企画展との連携等を行っていく。

今後のあり方をめぐって

問 寄贈品の数々を今後、市としてどのように生かしていくのか。

答 名寄市にとって財産である作品の研究を進めるとともに、他施設との共催による展覧会や講演会についても検討したい。



名寄市民文化センター内の「木原記念ギャラリー」

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



子育て支援の拡充を

日本共産党 川村幸栄 議員

医療費無料化を中学まで

問 第2次総合計画の重点プロジェクトに「安心子育てプロジェクト」が掲げられているが、積極的な施策を求める。道内35市中11市が入院・通院が18歳まで無料。上川管内町村では19町村中10町が18歳まで無料。保護者の所得や住む地域によって差があってはならないと考える。せめて、中学卒業まで無料に。

答 財政面の課題はあるが、すでに市長ローリング等で協議してきている。

学校給食費の無料化を

問 この間何度も取り上げてきた。学校給食は教育の一環であることや子どもの貧困問題なども取り上げ、無償化を求めてきた。教育費の負担が非常に大きい。内閣府の調査でも教育費の支援、軽減を求



子育て世代からの期待が大きい『あいあい』

める声が約70%。憲法は「義務教育はこれを無償とする」と謳っている。給食費の無償化をはじめ義務教育の完全無償が必要。考えは。

答 食料費の高騰の影響もあり、年間約1億1千万円と積算している。多額の財源を必要とする無償化の実施は極めて困難。

他の質問

保育士の待遇改善で配置増を、高齢者の除排雪支援について



人づくりは喫緊の課題

市民の声 佐藤靖 議員

3要綱見直しは急務

問 合併から17年で、旧風連町の人口を上回る5731人が名寄の地を離れた。また、職員の中途退職者は120人に達している。市職員からの提案なども低迷、町内会をはじめ各団体も役員のみならず、総合計画基本理念の柱になる「人づくり」に積極的に努めるべき。

答 今後も市民の皆さんが多様な活動に参加いただけるように努める。職員を対象とした各種要綱は多方面から見直す。

机上の財政議論は疑問

問 市は財政の厳しさを訴え、査定時に委託事業の有効性を問うているようだが、委託先の実情を無視した議論は遺憾。実態を把握したい。



個々の学生の活動をしっかり支える体制の再構築が必要

問 大学体制の抜本見直しを、独立行政法人化、大学院設置、保護者への理解など、名寄市立大学が抱える課題は多岐にわたっている。この際、設置者として抜本の見直しが必要ではないか。

答 課題は認識している。特に法人化は急務。専任の大学職員配置なども必要と考える。しっかり対応したい。

議会報特別委員会視察報告

3 常任委員会と同様に規定額内での視察を認められている議会報特別委員会は、改選後いち早く先進地を視察し議会だよりに反映させたい、と10月2日全国町村議会広報コンクールで企画・構成部門で奨励賞を受賞した上富良野町議会、10月3日議会改革でも取り組みが進んでいる音更町議会にて視察を行いました。

上富良野町 (10月2日)

上富良野町議会では、全国の優れている議会だよりを徹底的に研究し、レイアウトや見出しなど評価の高い部分を大胆に模倣していることに驚



上富良野町議会の皆さんと

かされました。テンプレートのグレードアップ化で質の高いものが作れるよう工夫されています。さらに、議会が伝えたいことと住民が求めているものの違いについても議論を重ね、情報の詰め込み過ぎを見直し、情報を削る決断をしています。作り手の熱量が住民を引き付けているものと感じました。

音更町 (10月3日)

音更町議会では「編集方針及び基準」に沿い、徹底して編集作業を行っていることを



手書き似顔絵が注目された「おとふけ議会だより」



音更町議会会議場にて

学びました。町民モニター制度を取り入れ、議会に対する厳しい声を紹介する「議会にひとこと」なども町民参加型の紙面づくりにつながっているものと感じました。既存概念にとらわれない自由な発想に学ぶことがたくさんあり、すべにでも取り入れていきたいと考えています。

議会活性化研修会

11月17日、市町村議会に詳しい大正大学の江藤俊昭教授を招き「魅力ある議員活動とは」のテーマで講演会を実施しました。

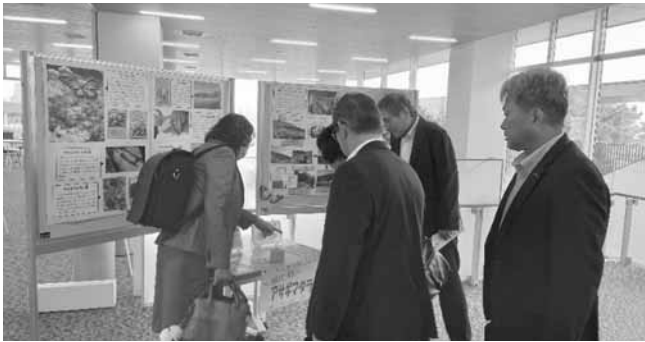
江藤教授は「住民自治の根幹は議会であり、多様な人材が公の場で議論するからこそ重い権限が与えられている。女性や若者ら幅広い層の人材が参加するために、議会が市民と一緒に政策を調査研究する仕組みを作っていくなければならぬ。政策提言などの成果を示した上で、議会の魅力を打ち出してほしい」と力説されました。今後は江藤教授の講演内容を基に、具体的な項目に取り組んでいきます。



住民自治の根幹は議会であると熱弁された江藤教授

総務文教常任委員会視察報告

香川県 《善通寺市・丸亀市・観音寺市》
 広島県 《呉市》



善通寺庁舎 2階の図書館見学

当委員会では「複合施設のあり方」を調査・研究のテーマとして、香川県善通寺市、丸亀市、観音寺市、広島県呉市の4か所の行政視察を行いました。

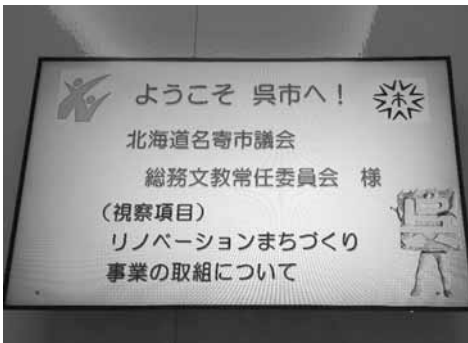
善通寺市では「市庁舎複合施設としての図書館整備事業の取組について」の視察を行



丸亀市では市民会館事業の説明を受ける

い、公共施設の機能を複合化させることにより多様な市民の利用を誘発し、時間・曜日の変化による流動性のある活用を目的とし、併せて複合化によるコスト削減も考慮したとのことであります。本市の公共施設等再配置計画においても、将来を見据えた中で、再配置を研究する上で大変参考となりました。

丸亀市では当市の公共施設の老朽化に伴う再編で「市民



呉市ではリノベーションまちづくり事業を学ぶ

会館整備事業について」の視察を行い、具体的な検討にあたり、3つの基本理念①豊かな人間性を育む②誰一人孤立させない③切れ目ない支えあいの理念に基づき、丸亀城の景観を損なうことなく、市民との車座集いや整備意見交換会を実施してきたとのことです。その中で強調されていたのは、「劇場をどうするか」ということでありました。

当市の公共施設建て替えにおいても市民にとって何が必要なのか、市民のために使ってもらえる施設なのかなど、様々な分野からの視点が欠かせないことを、改めて学びました。

議会日誌 11~1月

- 11/17 総務文教常任委員会
市民福祉常任委員会
- 11/20 総務文教常任委員会
経済建設常任委員会
- 11/22 各会派代表者会議
議会運営委員会
- 11/24 議会活性化特別委員会
士別市・名寄市合同議員

- 11/27 研修会（士別市）
議会運営委員会
議会報特別委員会
- 11/29 第4回定例会開会
各会派代表者会議
議会運営委員会
議員協議会
- 12/11 議会運営委員会
- 12/12 議会活性化特別委員会
- 12/13 議会運営委員会
- 12/14 議会運営委員会

- 12/15 議会報特別委員会
第4回定例会閉会
議会運営委員会
議員協議会
- 12/26 市民福祉常任委員会
- 1/11 議会運営委員会
- 1/16 議会活性化特別委員会
議会報特別委員会
- 1/17 市民福祉常任委員会
- 1/26 議会運営委員会

市民福祉常任委員会視察報告

子ども子育て施策・高齢者施策・空き家対策について行政視察を行いました。

兵庫県相生市（10月23日）

兵庫県相生市では、子育て施策の全国的なトップランナーで特徴的な子育て応援施策「11の鍵」を展開。結婚から住宅取得、妊娠出産施策、給食費や医療費の18歳までの無償化など、近隣都市から若者と子育て世帯の移住者の呼び込みに成功しています。



子育て応援施策「11の鍵」を推進する相生市は子育て施策のトップランナー

岡山県瀬戸内市（10月23日）

岡山県瀬戸内市では、こどもまんなか応援サポーター宣言を行い、「子育てを楽しくおならせとうち」と銘打ち、子ども子育て13種の施策を展開。育児用品費用の一部助成、不妊治療、医療費無料、「移動遊び場・プレーカー」などを推進しています。



こどもまんなか応援サポーター宣言で13事業の施策を推進する瀬戸内市

岡山県矢掛町（10月24日）

岡山県矢掛町の空き家対策では、空き家の増加に加え寄付や売却希望者が増えたため、交付金と過疎債を活用し改修

事業を展開。略式代執行では小学校の通学路の危険空き家を特定空き家に認定し、解体安全を確保しました。

認知症見守り事業では、徘徊を未然に防ぐべく、小型GPS内蔵の靴の購入を採用し、見守りを推進しています。

広島県尾道市（10月24日）

広島県尾道市では、国の交付金2分の1で、特定空き家等及び不良空き家除去補助事業を活用し、特定空き家と認定された43件中31件が解体されました。

事務調査事項の空き家対策を研修し、空き家対策協議会の重要性を感じました。



空き家から市民の生命・財産を保護し、生活環境を保全するため空き家を利活用

議員協議会

11月29日に第5回議員協議会が開催され、名寄市総合計画（第2次）後期実施計画の見直し、名寄市中期財政計画の2点について説明と質疑が行われました。

総合計画の見直しでは、新規事業としてA1オンデマンド交通、電子地域通貨普及拡大、小中学校冷房設備整備など11事業を新たに加えたこと、また中期財政計画について今後の税収や交付税等の歳入、人件費や公債費等の歳出の見直し等の説明がありました。

開業医の誘致、王子マテリア跡地の利活用等について質疑が行われました。



第5回名寄市議会議員協議会

経済建設常任委員会視察報告

静岡県浜松市 (10月30日)



「仕事を人に合わせる事が基本」
自社独自の機械の前で熱のこもった説明を受ける

浜松市では京丸園株式会社にて行政担当者も同席のもと「ユニバーサル農業による労働力確保の取組について」視察を行いました。農業サイドの人手不足及び福祉サイドの働き場所不足の課題に対し、農業経営者側からの仕掛けによって解決してきた経緯を知ることができました。障がい者の働きやすい環境は誰もが働きやすい職場であること、

多様な人材が働く環境は経営環境の変化に強いことなど、名寄市の人材確保につながる示唆を得ることができました。

愛知県豊橋市 (10月31日)



中心市街地を歩きながら生まれ変わる空き店舗を視察

豊橋駅前を中心に「中心市街地活性化を目指した商店街空き店舗対策事業の取組について」視察を行いました。官民連携により様々なイベントを企画し空き店舗の解消に取り組んでいる状況を伺い知ることができました。中でも、

一級建築士の視点から築60年の建物群を維持し、古さを活かしながら集客につなぐ取り組みは強く印象に残るものであり、参考としたい事例でありました。

静岡県掛川市 (10月31日)



「オーガニックビレッジ宣言都市」の取組について説明を聞く

掛川市では「オーガニックビレッジ宣言都市の取組について」視察を行いました。有機農業への取り組みに当たっては、行政の情勢分析及び「オーガニックビレッジ推進協議会」のようなサポート体制の必要性を痛感することができました。

名寄市・土別市合同議員研修会



土別市議会議場での研修会

11月24日(金)、土別市議会議場で「名寄市・土別市合同議員研修会」が開かれました。テーマは「OMEGAファーマーズの取組について」。講師は北海道銀行から出向中の名久井伸也氏でした。
2019年に土別市で設立された合同会社OMEGAファーマーズは、廃校となった小学校の体育館を搾油工場として利用し、亜麻仁(あまに)、油、荳胡麻(えごま)、油菜種(なたね)、油の搾油事業を行っています。地域の農業者、行政と一体となり、地域全体の活性化を目指しています。共に講演から学び、その後の意見交換会で交流を深めました。

☆ き ぽ う ☆



生涯学習は楽しい

しみず かずひこ
清水 和彦

私が生涯学習に携わったのは名寄市と風連町が合併した直後より、風連瑞生大学のパソコンクラブの講師として月に3回程の講義を受け持つようになりました。最初は自分の親よりも高齢の方が多かったので接し方に戸惑いを覚えることが多かったように思います。毎回10人程のクラブ活動でしたが、学生達の真剣に学ぶ姿に心を動かされました。毎年新入生が入学されるたびに親の世代から地域の先輩へと世代も移り変わっていきますが、皆さんの学ぶ姿勢は毎年変わらないことに、自分は学んでいるのだろうか？と疑問に思います。昔は勉強が苦手と楽しいと思わなかったのですが、クラブの方々をはじめ瑞生大学に通われている方々の楽しそうな顔を見て学ぶ楽しさを知り、自分も幾つになっても楽しく学んでいきたいと思うようになりました。



保育事業への希望

にしかわ ちひろ
西川 千広

名寄へ移住して2年目です。子供の高等教育をどうするかについては移住時に検討しましたが、保育園に入れず困ることになるとは思いませんでした。第二子が生まれるにあたり、保育所を探しましたが実質的な0歳児の受け入れ枠がないとのこと。私と同じように制度上、育休が取れない自営業の方が名寄には多くいらっしゃると思いますが、それでも0歳の受け入れ枠がないのは意外でした。受け入れ枠がないのは保育園の“人手不足”によるそうです。根本的には国の政策が原因である“人手不足”ということは理解できますが、保育有資格者を輩出する市立大学を擁している名寄市ならば保育事業を強みにできうるのではないのでしょうか。保育事業の充実で安心して働ければ、親は地域経済へも貢献できます。子育て世代に支持され、感謝される行政に発展することを期待しています。

表紙の写真は「名寄東中学校ボランティア部」です。

名寄東中学校ボランティア部では、ペットボトルキャップ等を生徒から集めて贈呈したり、募金活動を行ったりするなど、みなさんの役に立てるような活動をしています。

また、デイサービス訪問では、高齢者の方とのふれあいが自分たちの学びにつながるとても貴重な経験となっています。これからもたくさんの人を笑顔にできるような活動をしていきたいです。



編集後記

私事で恐縮ですが、令和5年は親類関係の不幸が重なり、多くの思い出と共にあ見送りの時間を過ごしました▼科学技術の発展めざましい現代社会において、迷信の類を信じているわけではありませんが、「厄年」「初老」とはこういう世代なのか、と感じた次第です▼子育ても終盤を迎え、両親も車の運転を避けるようになります、かくいう自分も小さな文字を読むのがあつくつくなるなど、社会的にも身体的にも曲がり角を迎える頃合いなのでしよう▼子供の成長を感じると同時に自らの残り時間を意識すると、一分一秒を大切にしながら日々是好日と捉え、公私ともに毎日を積み重ねたいと思う所存です。

(合)

